

JSCA九州 16号

発行・日本建築構造技術者協会九州支部
 福岡市東区香椎駅東1-38-6-103
 TEL 092-692-8738 / FAX 092-692-8739
 Web Site : <http://jscakyushu.jp/>
 E-mail : info@jscakyushu.jp

2010年巻頭言



支部長

鹿島建設㈱ 尾宮 洋一

今年は虎年です。皆様どんな年になると期待されていますか。

12年前の1998年は、阪神淡路大震災後3年目の年で、明石海峡大橋が完成しました。また、長野オリンピックが開催され、Mウェーブ等オリンピック施設が建設された年です。経済も現在と似ており、景気後退の局面で経済成長率は低下し、格安航空のスカイマークやエア・ドゥが参入しました。この年を底に、徐々にですが景気回復の対策が、効果を上げてきます。

さて、JSCA九州支部では、昨年、法人化20周年事業としてJSCAアワード、アーキエアリング展、博多どんたくへの参加等積極的な活動を行ってきました。また、11月からは若手研修としてのセミナーを開始し、100名以上の参加を頂いています。これらは、今後を担う若手構造設計者の育成と連帯に大きく寄与するものと考えます。昨年の巻頭言でも、若手構造設計者を顕在化し、業務だけでなく、むしろ業務から離れた活動へ参加することにより、各人のスキル向上や視野を広げること、異なる年齢・職場の人との連携することを、目標のひとつに掲げていました。11月には、九州鉄鋼工業会青年部とJSCA九州支部の青年部・女性部との合同交流会を開催し、他業種との連帯の輪を広げつつあると実感しています。青年部・女性部の活動は、着実に実になりつつあり、広がってきていると思います。今年も引き続き5月までは、若手セミナーをスケジュール通り開催し、構造設計者としての基礎的力を着実に付けてもらいたいと考えます。

九州支部は、若手の活動だけではなく、技術委員会をはじめ各委員会では、見学会・講習会・他団体との交流会と活発な活動を行っています。今年も支部会員の増強を進めながら、会員各自が問題意識を持って、それを解決する場として、自主的に利用していただきたいと考えます。

最後に、事務局として九州支部を支えていただいた山田賢良氏の回復を祈っています。あせらず、今は自分の体のことを優先して、出来るだけ完全に体を直して復帰されることを希望します。それまで、事務局はみんなで分担して行います。

会員のみなさまも、体には気をつけて、実りある1年を過ごしてください。



新年を迎えて



副支部長

(株)JE 構造設計 上瀧 邦宏

新年明けましておめでとうございます。

私の昨年、膨大な量の耐震診断業務とその審査に追われ、考える時間も捕れない内に終わってしまいました。しかし、その間世の中はめまぐるしい変化をしております。一昨年末のリーマンショックが本格的に建築を直撃し、九州のマンション建設は最盛期の 30% 台との声も聞こえてきます。また、政権の交代で補助金は右往左往、出るのかでないのかで、予定も予算も予想が付かないと、色々なところから悲鳴のようなお話が届きます。07 年の改正基準法の運営は何とか流れ始めてきたようですが、実態は業務の遂行を優先して手続きに合わせた動きをしているだけで、数々の矛盾は棚に仕舞って内容の吟味は後回しになっている様な感じがいたします。昨年秋の国交省ヒアリングを受け、今年3月までの通常国会で規準法の改正を再度行う話もありましたが、どうなるのでしょうか。

自由主義経済には緩やかな景気上昇の理論は無い、との話を聞いた事があります。いよいよ学校関係の耐震診断はクライマックスとなり、景気の回復を願いつつ、次の何かを模索しなければならない気がしております。一体、日本はどこへ行くのかなあ。兎に角みんなで頑張って良い年にしましょう。



副支部長

(有)福岡構造 宮田 俊英

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご健勝の事とお慶び申し上げます。改正基準法の施行から 4 年目を迎えようとしていますが、やや落ち着きを見せてきた状況だと思います。

ただ一昨年のリーマンショック以来、不景気が長引いている状況で適合性判定物件も激減していると聞いています。今年も民主党政権の下で、景気が急激に回復することは期待できないと思われます。そんな中、我々構造設計者に何が出来るのか甚だ疑問ですが、前向きな姿勢を持って日々を過ごして行かないといけないと言う事が本音です。耐震診断等の業務も構造事務所だけでなく、他設計事務所が参入されてきていて混沌としてきています。品質および設計報酬等の低下が心配されていますが、極力前記の維持・向上を旨として会員皆様の更なる発展を祈念いたします。



JSCA 役員新年会

技術委員会

技術委員長

吉原建築構造計画 吉原 浩晃

皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は建設業に携わる私たち設計者にとっても変化の年であり、民主党による政権交代により「コンクリートから人へ」と当たりの良い言葉で公共事業の大幅削減との方向が示され、その上、景気が低迷し、建設業に携わる人間にとっては今年はどうなるのか不安を感じております。今年が私どもの業界にとって良い一年であれば良いのですが。

我らの業務に目を向ければ、構造設計一級建築士なる、責任だけ明確化された法が正式に施行され、我らの業務の多さ、提出書類の多さは一向に改善される話はありません。そろそろ何らかの形で改正される話はないのでしょうか？

その反面、建築基準法が改正された影響により、一時期言われておりました確認申請手続きの長期化も、ここ近年、この形態に慣れた？せいか、はたまた不況のせいで確認業務物件が減ったせいか、審査期間も適正な時間で行われるようになってきており、前ほど構造設計の審査に時間がかかりすぎるといふ批判は少なくなってきたように思えます。この点は適判機関の方々のご努力には敬意を表したいと思えます。

しかし、まだ一部の適合性判定機関で、適合性判定が始まった当初に行われていた様な審査(個人的見解の押しつけ的な判定や icba の判断基準を無視した判定など)が行われている場合も見受けられますし、まだ事前相談を拒否する審査機関が残っております。過渡期と言うには時間が経ちすぎているので、審査機関のより柔軟な方向への転換、対応が望まれます。

この点を含め、私ども技術委員会としては、構造設計者及びそれに携わる判定委員の皆様のスキルアップのため、各部会主催の勉強会、若手育成のための勉強会等を各部長を筆頭に、今年もより多く開催し、適合性判定機関の方々および支部地区会の方々にもより多く参加頂き、構造設計に携わる多くの方々への情報発信を心がけたいと考えております。皆様の協力をお願いいたします。

地盤系部会

地盤系部会長

清水建設(株) 木原 幸紀

皆様、新年明けましておめでとうございます。

地盤系部会の本年度の活動としては、昨年 7 月に講習会を行いました。『地盤調査ハンドブック』の第 2 部の作成を行っております。

新たな項目としては下記のように考えております。

- ①地盤関連 Q&A 追加版
- ②九州地方の地盤
- ③設計例・失敗例

昨年度に引き続き許斐顧問や青年部会の協力を得て、色々な情報や知見をまとめております。

まとめ次第、皆様にも展開したいと考えます。

更に、4 月には若手実務者研修会の第 5 回として『地盤調査と基礎設計』も計画しておりますので興味の方は是非ご参加願います。

なお、このような活動にご協力頂ける方は、いつでも結構ですので

部会長の木原まで是非ご連絡をお願いします。

新年を迎えて RC 系部会

RC系部会長

（関竹中工務店 大塚 真裕）

世界同時不況の影響を受け景気回復の兆しも見えず、さらに、円高が企業収益を圧迫し、建設投資がさらに冷え込んでおり、建設業にとっては先行き不透明な状況が続いています。

しかし、ある意味では、このような時こそ知識や技術を身に付ける良いチャンスであると考えます。そのような中で昨年は、施工品質に関する知識を高める目的で鉄筋加工センターの見学会を行いました。鉄筋の曲げ加工後の戻り量も考慮して、システムチックに精度良く加工されていく鉄筋を見て、加工技術の高さを感じました。一方、支給を受け納入された鉄筋の仕分け管理のあり方に課題も感じた見学会でした。

今年は、昨年から九州支部全体で連携し行われているJSCA構造設計若手技術者研修会（第IV編「鉄筋コンクリート造の構造設計」）や、改定講習会が行われる「鉄筋コンクリート構造計算規準」について講習会後に定期的な勉強会等を開催し、幅広く多くの方が設計する鉄筋コンクリート造について理解を深めたいと思います。また、熊本では要望のありました建設中の高層RCマンションの見学会を開催したいと思います。

今後も会員皆様のご意見・ご協力をお願い致します。



鉄筋加工センターの見学会

鉄骨系部会

鉄骨系部会長

（大成建設㈱ 金子 文彦）

鉄骨部会の金子文彦です。構造設計に携わって約17年間で東京で過ごし、平成20年に初めてこの九州の地に来ました。平成21年1月に前任者の中川路から引継ぎ交代となりました。

九州に赴任してから、もう少しで2年になろうとしています。この九州の地において全てが初めての事ばかりで、いまだに環境の変化に慣れることが出来ない状態です。その中であって鉄骨部会としての活動は進んでいない状況にありますので、今後このJSCA九州の組織にあって鉄骨部会としての活動が出来ればと考えております。活動テーマを模索しているところにありますので、興味深い何か提案をいただければ有難いと思っております。

木質系部会

木質系部会長

川崎建築構造設計事務所 川崎 薫

新年 明けましておめでとうございます。

昨年は、改正基準法への対応の為、構造設計概要書の作成、大量の書類作成、改正基準法に準ずる技術基準への対応、そして適合性判定への対応等、木造部会の会員も多忙さを極めた1年だったと思います。

昨年の木造部会の活動といたしまして、特に力を入れたのが、“昔ながらの木造伝統構法に対する限界耐力計算”と“木質構造の許容応力度設計法について”の二つのシリーズです。限界耐力計算は2年間に渡っての勉強会が無事終了しました。いずれも、JSCA木造部会に限らず一般の建築事務所や工務店等に勤務されている方の参加が多く、半数以上がJSCA 会員外からの参加となっています。

又、木質材料や木材関連の研究をされている先生を招き、木質構造についての勉強も行っていました。

昨年は、木造部会員の協力により、これらの企画を順調に進めることが出来ました。JSCA 会員以外の方々も多数参加して頂いているおかげで、多方面からの意見や知識が情報として入手できる様になりました。これらの情報が設計時に大いに役立っていると思います。

新規の企画も会員の意見等を聞きながら準備を始めたいと思います。これからも役立つ多くの情報を会員の皆様に提供していける様、ご協力を宜しくお願い致します。



北原先生の講演会の様子

特殊（PC）系部会

特殊(PC)系部会長

オリエンタル白石(株) 内山 執樹

明けましておめでとうございます。当部会の活動目的は、プレストレストコンクリート(PC)構造に関わる建築物やプレストレス力を利用した最新の工法などの情報をいち早く会員の皆様や行政に関わる方々、一般市民の方々に提供し、より良い社会資本の形成に役立つことにあります。そしてこの部会活動を通してプレストレストコンクリート構造のより一層の普及をめざすものであります。本年も特殊(PC系)部会を宜しくお願い申し上げます。

さて、当部会では昨年9月4日に大分市においてプレキャスト PC 組立工法による新築の学校建築の現場見学会を行いました。本年もPCの良さを視覚的に体験していただく為、できるだけ現場見学会を開催していきたいと思っております。昨年10月には日本建築センター「プレストレストコンクリート造設計施工指針」の改定版がやっと発刊され東京と大阪で講習会が開催されましたが、残念ながら九州では開催されませんでした。そこで当部会において新指針の発刊に尽力を尽くされた関係者の中から講師を招き2月19日に福岡において新指針の勉強会を開催いたします。是非出席していただきプレストレスコンクリート構造への理解をより一層深めていただきたいと思います。

耐震改修促進委員会

耐震改修促進委員長
(有)ストリームデザイン 原 英基

あけましておめでとうございます。

昨年は耐震診断業務の発注が佳境を迎え、診断業務に携わる皆さんは多忙な1年であったことと推察いたします。地区委員の皆さんにご協力いただいた耐震診断業務の実態アンケート調査からもその様子がうかがい知れたところです。

本年も引き続き同様の状態が続くものと思われませんが、そんな中、JSCA会員が業務品質の確保に尽力していくことにより益々の信頼を勝ち取ることが大切ではないかと感じております。

本年も委員会活動へのご協力よろしくお願いたします。

そして体には十分気をつけながら頑張りましょう。

青年部会

青年部会長
(株)日本設計 今林 光秀

青年部も発足以来2年半が経過し、今では福岡県内にとどまらず九州沖縄の仲間たち総勢33名となりました。

会合に参加できない遠方のメンバーにも情報共有できるような仕組みを整理し、誰でも自由に参加できる若手主役の集まりとしてやってきました。特に昨年は、建築学会などとの共催で行われたアーキエアリング展九州において、JSCAという狭い枠内だけにとらわれない幅広い貴重な経験をさせていただき、組織や団体を越えた自由な交流の大切さを学ぶことができました。

今年も青年部本来の趣旨である「若手のネットワーク作りと構造の楽しさ共有」を忘れずに、若手がのびのびと活躍する場でありたいと思っています。そうは言っても、日々の現業では最前線に立ち忙しくしているメンバーばかりですので、負担になり過ぎないようにバランス良くすることも大切です。JSCAのためではなく、自分・仲間そして社会のために活動するという意識をもって、メンバーそれぞれが各人なりに楽しくやっっていけることが青年部としての成功だと考えています。



昨年のどんたくでの集合写真

地区会だよ

北九州地区会

北九州地区会幹事

(有)パブレ建築事務所 森永 健

あけましておめでとうございます

地区会の運営を任されて半年、トータルリビングショーや建築六団体新年賀詞交歓会など、慣れないなか、会員と一緒にやっていくことができました。

今年は、

1. JSCA 北九州地区会の主催で講演会を計画
2. 北九州建築六団体のエコハウス運営参加
3. ローカルな親睦会を兼ねた勉強会
4. 行政との連絡会議など

地元建築行政や設計者に構造技術者をアピールする形で地区会の運営をやっていこうと考えています。

佐賀地区会

佐賀地区会幹事

江口建築設計事務所 江口 達実

昨年は、金融危機依頼の建設業不況の中で構造計算適合性判定の審査物件は激減し、一刻も早い景気回復を祈る1年でありました。そうした中でも既存建物の耐震化は着実に進み、耐震診断業務で忙しくした1年でもありました。

佐賀地区会ではJSCA会員 13 名に加え佐賀県構造家連絡会のメンバーと連携し、講習会の開催並びに各団体への講師派遣など、積極的な協力が出来たことに大変満足しております。また、木造許容応力度設計法セミナーを3回に渡り開催し、意匠設計事務所及び工務店の方にも参加していただき、木造構造計算の基本を学ぶことが出来ました。

主な活動内容は下記のとおりです。

- ① (社)佐賀県建築士事務所協会構造専門委員会委員派遣 (5名)
- ② (社)佐賀県建築士事務所協会耐震強度検討部会委員派遣 (3名)
- ③ 佐賀地区会総会 (6月)
- ④ 既製露出柱脚勉強会 (6月)
- ⑤ 技術基準解説書(黄色本)勉強会 (6月)
- ⑥ 木造許容応力度設計法セミナー開催3回(講師:山田憲明氏)
- ⑦ 既製露出柱脚勉強会 (11月)
- ⑧ 木造大スパン建築物視察研修 (11月)
- ⑨ 建築士のための講習会講師派遣1回(1名)
- ⑩ 木造講習会講師派遣2回(2名)
- ⑪ 適合性判定員として5名業務

今年は、各支部で開催されている若手技術者研修会の佐賀県版を、若手建築士を対象として建築士会と連携し開催する予定です。佐賀では構造設計者の絶対数が少なく、若手の育成が急務であり、この講習会等を通じて構造設計への興味を持つ方を増やしていければと考えております。

熊本地区会

熊本地区会幹事

(有)澤村建築構造事務所 澤村 虎喜

熊本地区会の報告を致します。

昨年は、九州支部では法人化設立 20 周年の記念事業が行われ、熊本地区会からも参加しました。支部長以下、青年部会の皆さんの活発な活動もあり大いに盛り上がった年でした。

熊本地区では、7/31 日に地区総会及び㈱NTT ファシリティーズの齋藤賢二氏を迎えての講演会、終了後に懇親会を開催しました。

また、10/30 日に NPO 法人 KPIC 共催で耐震ブレース工法と鉄骨柱脚工法の設計についての勉強会を開催しました。

今年は 2011 年の九州新幹線全線開業に伴い、熊本駅周辺の整備事業が計画されています。3 月頃には駅前広場の PC 工作物の講演会(見学会)、8 月頃には付近施設の 35 階建の制震建物の現場見学会を予定しています。

熊本地区の会員数も 23 名に増加しましたので、会員相互の親睦を図り活発に活動できる体制を整えていきたいと思っています。今年もよろしくお祈りします。

宮崎地区会

宮崎地区会幹事

(株)志多組 川越 義雄

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、JSCA 九州会議の宮崎開催、支部地盤系部会の協力を得た地盤講習会、行政担当者による確認対応講習会等の色々な活動が出来ました。皆様方のご協力誠にありがとうございました。

昨年暮れには構造プログラムメーカーに依る講習会を計画したのですが、時間的調整が取れずに今年最初の課題となりました。

宮崎は交通の便、技術講習会開催等の情報の面で、JSCA 九州の中でも最も不利な地域かも知れません。その為にも地区会の役割は大きく、幅広く最新技術情報を入手し、定期的な講習会等で会員に伝える必要があります。このような活動は地道であり、結果が目に見えて出るものではありませんがコツコツとした努力が必要です。そのような地道な努力なしには中央(福岡)との技術較差は広がる一方です。「みんなのために」の意識で頑張っています。

私は、本年 3 月末で事務局を 4 年、地区幹事を 2 年の計 6 年を経験します。お陰様で多くの仲間を、多くの情報網をつくる事が出来ました。この 6 年間の経験で幅広くなった自分を感じています。出来ることなら地区会の一人一人にこの経験をしてもらいたいと願っているところです。

本年も宮崎地区会をよろしくお祈り致します。



鹿児島地区会

鹿児島地区会幹事

(有)鹿建設 木場 正人

あけまして、おめでとうございます。

数回の忘年会で、昨年はすっかり旧年になり、希望に満ちた、新年を迎えました。

JSCA 鹿児島の本年の活動方針は、

- ①若手構造設計者の会員拡大、および青年部会へのお誘い。
- ②JSCA 九州支部の組織編成にあわせて、各技術委員会および耐震改修促進委員会を作り、1名以上の委員を配属する。支部との連絡係とする。
- ③JSCA 会員の適合性判定委員の懇談を行う。問題点の共通認識をもち、情報を発信する。
- ④年に1回のレクリエーションまたは研修旅行の実施。
- ⑤研修会または講習会の実施。
- ⑥3か月に1回の例会を行う。
- ⑦他の団体との交流を行う。

昨年は、法人化20周年記念大会へほぼ全員が参加しました。また宮崎地区へは、バスで一泊研修を行いました。本年1月30日は、鉄構工業会のご協力で、溶接体験を行います。

新政権が発足し、環境は変わっても、私たちに求められているものはクォリティーとコンプライアンスです。私たちは、未来へ期待を込めて、活動してまいります。

沖縄地区会

沖縄地区会幹事

(株)建造設計 山盛 善貴

建築基準法が改正施行された直後、構造設計者不足が叫ばれ県外の支援を受けても尚、多忙でそれこそ猫の手も借りたいと言っていたのが去年の夏以降は仕事が減りこの先どうなるかと不安になる中、11月28日「建築士法改正の制度」がスタートし、基準法改正時のような混乱を避けるため建築確認円滑化対策連絡協議会が開催された。その中で地区会は不況の影響からか仕事が減り円滑化よりも業務の確保が問題となっているとの意見を付け加えた。このような状況が続けば若手育成などおぼつかないと思いがらの新年である。

今年こそは良い寅年でありますように願い地区会の活動報告を致します。

- ・地区会は毎月々初めに定例会を行う。
- ・平成21年は2月6日奥武山野球場現場見学会を行う、また2月17日は琉球大学工学部と共催で「モード学園スパイラルタワーズにおける自由な形態と構造デザイン」と題して構造設計者による講演会を行う。
- ・5月22日……地区会親睦ボーリング大会後平成20年度総会を行う。
- ・7月27日……石嶺市宮住宅深礎工法現場見学会を行う。

平成22年は県発注の「プロティ建築物(小規模)耐震診断業務」及び診断結果に基づき勉強会を予定。地区会のホームページは立ち上がったが中身はこれからです。



新事務局紹介

事務局 山下正吾

明けましておめでとうございます。

昨年の支部総会・法人化 20 周年記念行事時には、支部幹事で主体的に事務局を担当されていました普賢設計構造事務所の山田賢良さんが昨年の夏、病気で入院され、現在もリハビリ中です。しかし、最近では順調に回復に向かわれ、退院・復帰も近いとお聞きしています。

今年度は、若手研修に代表される講習会が激増しその準備や運営業務の増加、また、会計監査が強化され会計事務所に対する経理処理対応など事務局の作業量が急激に拡大しています。そこで、第 2 回役員会で、残された事務局の山下と会計の奥間さんに加え、新たに 3 人の方に事務局に加わってもらう事になりました。

本紙面をお借りして新事務局のご紹介をいたします。下記に、入院中の山田さんを除いた新事務局の一覧を示します。

名 前	所 属	担 当
山下 正吾	SHOGO構造設計	事務局・窓口
渡部 直人	(有)設計工房新	事務局
重松 正幸	(株)構造FACTORY	事務局
新井 浩晃	アライ設計	事務局
奥間 雅美	鹿島建設(株)九州支店	会計

当面、会計の奥間さんと事務局 4 人で増加した事務処理を分担して力を合わせて処理しようとしています。下記に事務局員の連絡先も含め自己紹介を掲載いたします。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

・山下正吾

所属住所:福岡市東区香椎駅東 1-38-6-103

TEL/FAX : 092-692-8738 / 092-692-8739

Email : shogokozo@kra.biglobe.ne.jp

(自己紹介)

3年程前から普賢設計の山田さんと一緒に事務局を担当させて頂いています。昨年4月に(株)富士ピー・エスを退職して、独立したばかりの新米の構造事務所の一人所長です。55歳・孫一人です。事務局を4人でやっています。よろしく願いいたします。

・渡部直人

所属住所:福岡市南区市崎 1-2-8 高宮マンション 217

TEL/FAX : 092-533-6571 / 092-533-6572

Email : watanabe@sk-arata.co.jp

(自己紹介)

昨年末より事務局を、お手伝いさせて頂いています。独立して設計事務所を初めて約 10 年が経ち、その間に、構造適合判定のスタート、適判、リーマンショックによる景気の低迷、入院と色々な事が有りました。事務局の作業をどうして、色々な方とお会い出来るのを楽しみにしています。よろしく願いいたします。

・重松正幸

所属住所:福岡市中央区楽院 4-3-5 セレス楽院 7F

TEL/FAX : 092-534-3220 / 092-534-3230

Email : shigematsu@kozyo-factory.com

(自己紹介)

昨年秋頃から事務局の一部を担当させて頂いております。青年部の一員として活動してまいりましたが、昨年の「博多どんたく」で JSCA 九州どんたく隊隊長を勤めた事が、事務局を担当するきっかけになったようにも思えます。これを機会に、また新たな人とのつながりができる事を期待しています。独立し会社を設立してからまだ3年程ですので、自分の事で精一杯な面もありますが、山下さん指導の元、手探り状態ですが少しでもお役に立てればと思っています。また、事務局の運営には、会員の皆さんの協力も必要不可欠であると感じています。今後ともご協力お願いいたします。

・新井浩晃

所属住所:福岡市博多区美野島 1-5-1 丸美博多ビル 401

TEL/FAX : 092-481-5638 / 092-400-5670

Email : arai.str@cclery.ocn.ne.jp

(自己紹介)

新しい事務局の体制がスタートし、いくつかの事を事務局として担当させて頂きましたが、慣れない事や戸惑うことが多いのが正直な感想です。今まで山田さんはこれらの事を全て御一人でこなされたのかと思うと、大変な御尽力だったのではないかと只々感謝の想いで一杯になりました。山田さんがいつお戻りになられても恥ずかしくないように、微力ながら貢献させて頂こうと思います。今後とも宜しくお願い致します。



JSCA 九州新事務局一同
(左端より、新井・重松・山下・渡部)

2010年福岡建築倶楽部新年の集い

平成22年1月22日(金)に福岡地区建築設関連7団体で共催する毎年恒例の建築倶楽部新年の集いがKKRホテル博多にて開催されました。今年も約250名の正会員及び賛助会員が集い、盛大に開催されました。7団体を代表して尾宮JSCA九州支部長が挨拶され、「12年前の歴史が証明しているように、寅年の翌年は良い年になる。この1年をがんばって乗り切ろう!」と呼びかけられました。出席された皆様疲れ様でした!!

福岡建築倶楽部

- (社)福岡建築上事務所協会福岡支部
- (社)日本建築構造事務所協会九州支部
- (社)日本建築学会九州支部福岡支所
- (社)日本設備設計事務所協会福岡県支部
- (社)日本建築家協会九州支部福岡会
- (社)日本建築積算協会九州支部
- (社)福家憲建築士会福岡支部



(挨拶する尾宮支部長)

講習会のお知らせ

「2009年版プレストレストコンクリート造技術基準解説及び設計・計算例」勉強会のお知らせ

- 主 催 JSCA九州支部技術委員会 特殊(PC系)部会
プレストレストコンクリート建設業協会九州支部技術部会建築委員会
- 日 時 2月19日(金)13:30~17:00
- 場 所 オリエンタル白石(株)福岡支店5F会議室
- 連絡先 オリエンタル白石(株)福岡支店 営業部 内山俊樹 TEL.092-741-3399/FAX092-761-6932

「鉄筋コンクリート造建築物における構造スリットに関する勉強会」のお知らせ

- 主 催 JSCA九州支部
- 日 時 2月26日(金)13:10~18:00
- 場 所 福岡市都久志会館4F
- 連絡先 JSCA九州支部事務局 SHOGO 構造設計 TEL092-692-8738/FAX092-692-8739

掲載記事大募集!!

正会員・賛助会員の皆様、この機関誌「JSCA九州メール版」へ何か掲載されませんか?!(広告など)掲載されたいかたは事務局までご一報をください。

編集後記

今回の16号よりメール版として再出発することになりました。せめて四季折々、年4回の発行をめざしていこうと思っています。取材へのご協力をお願いします☆☆(森田 記)